



# 一の宮っ子

第23号

発行  
一宮市児童育成連絡協議会  
事務局

一宮市社会福祉センター  
思いやり会館内・2階

一宮市桜1丁目12番1号  
TEL・FAX 0586-73-0356

ホームページアドレス  
<http://home.owari.ne.jp/~jido-ren/>

平成25年3月28日

## 新年子ども会大会

### あそびの発表

起連区 カナリア子ども会

六年 筒井 涼

僕たち起連区の子ども会は、  
どの子ども会も子供の人数が  
とても少なく、一つの子ど  
も会だけで発表するのは人数  
的に無理なので、起連区全体  
の中から高学年を中心に集ま  
って発表する事になりました。

僕たちが発表したものは、「仲間探し」という遊びです。自分に配られたカードに描いてある動物をジェスチャーで表現するのですが、練習の時は、はずかしくてなかなかできませんでした。だけど当日は、市民会館でリハーサルをした時に、現場の緊張感や真剣さ、指導してくださった大人の方々の一生懸命さが伝わってきて、僕たちも頑張って一生懸命やらなくては、という気持ちが出てきて、頑張りました。リハーサルの後も、本番までの間、役員の人達がリハーサルでは不十分だった所をいろいろ直してくれて、何度も練習しました。

本番は、今までの中で一番上手にできたと思います。一番最初集まった時はみんなばらばら

で、ちゃんとできるのかとても不安でしたが、最後はみんな力を合わせてしっかりと発表でき、一つの事をやり遂げた感じがしてうれしかったです。



▲ちゃんと表現できるかな

小信中島連区 なかじま子ども会  
六年 田中 佑樹

ぼく達は、新年子ども会大会に小信中島連区の代表として出ることになりました。内容は、ふだん子ども会でやっているゲームを発表するというものです。昨年のお楽しみ会でやった「聖徳太子ゲーム」をすることにしました。聖徳太子ゲームとは、何人かの子供達が一緒に言った言葉で他の子供達が答えるというゲームです。

何度かみんなで練習しましたが、遊んでいる時のゲームとは違い発表するための練習だったのでなかなか上手に出来ませんでした。  
新年子ども会大会の日、午

前中リハーサルをしました。立ち位置やゲームの流れを確認しました。何度か練習をしてきたのでスムーズにリハーサルが終わりました。

午後から本番が始まりました。ぼく達は第三部の二番目に出演しました。

舞台上立つとお客さんがたくさんいたので緊張しました。多くのあいさつとゲームの説明から始まりました。みんな練習してきたので本番も上手に発表できたと思います。六年生でこの行事に参加出来て、良い思い出になりました。



▲しっかり伝わるといいな

三条連区 五色町子ども会  
六年 大嶋 翔子

昨年の夏ごろ新年子ども会大会に出演することを聞き、最初の話し合いをするため夏休みに六年生が集まりました。議題は「どんな遊びを発表するか」。みんな自由に考えていろいろな案が出ました。クイズ大会にしようとか、笑点みたいなゲームを作ろうとか、

空き缶を積み上げて対戦しようなど12の遊びが提案されました。どれもおもしろそうだと思いますが「新聞じゃんけん」に決められました。

秋になり練習が始まると舞台で進行する役などを決めるため、六年生が一人づつマイクを使い短い文章を読んでもめました。少し緊張しました。私はルール説明を担当することになり、ゆっくりはつきり話そうと練習しました。新聞じゃんけんの練習は実際にみんな遊んでルールを決めたり変更したりして大変でしたが楽しかったです。

発表当日は朝からリハーサルで舞台上がり緊張しましたが、本番はもっと緊張しました。でもみんなの方を見ると笑顔の子が多かったのでほっとして落ち着いて話せました。そして最後までみんなで元気に発表ができました。新年子ども会大会を通して、他の学年の子とふれ合い、新しい体験ができてよかったです。



▲みんなで作り上げた舞台!



# かべ新聞 優秀賞

北方町連区 狐塚ニコニコ子ども会

六年 青井 梨緒

狐塚子ども会の六年生は、男子11人、女子6人です。壁新聞作りは、夏休みを利用して2日で作りしました。テーマは、17人の子ぶた物語です。17人が、グループに分かれて、春のお祭り、中止になってしまったけどキックベースボールの練習の事など楽しかった事、思い出に残った事などを書きました。

みんなで集まると楽しくて、始めはふざけて遊んでいた男子も、気がつくくと真剣に作っているのはとてもびっくりしました。

一つ一つの行事を思い出しながら楽しんで作る事ができたのでよかったです。



今伊勢町連区 南吉田子ども会

六年 園田 真帆  
加藤 美波

わたしたち、南吉田子ども会六十二名は、「やってみたいお仕事なあに？」というテーマのかべ新聞で、それぞれのしょう来のゆめについてカラフルなふうせんに書きました。

にじのかかった空に138タワーパークからそれぞれゆめをのせたカラフルなふうせんをとばして、南吉田かべ新聞を完成させました。

工夫したところは、背景のにじや138タワーパークなどをおり紙をちぎってはったところです。

みんなのゆめがたくさんつまったかべ新聞ができたので、とてもよかったです。



大和町連区 戸塚子ども会  
五年 早川 生真

ぼく達、戸塚子ども会は大和東小学校に通っています。大和東小学校はひまわりプロジェクトという活動を行っています。今年の夏も学校中に、たくさんひまわりがともキレイに咲いていました。だから壁新聞にも、ひまわりを大きく飾ってみよう、皆で考えました。22人全員が一人一枚のひまわりの花びらに、将来の夢を書くことはすぐ決まりました。その後は「写真を使ってみたら？」と役員のお母さんの案で、子ども達の顔写真をひまわりの真ん中にのせてみました。22人全員の写真をはっていくと、ぼく達皆で、戸塚子ども会なんだと、少しあたたかい気持ちになりました。それから、スペースの空いた所に、遠足や夏祭り、スポーツレクリエーションの集合写真をはって、コメントも入れました。また、夏休み前になんばって作った、一宮の七夕に飾ってもらえた笹飾りの写真もはりました。この笹飾りは、ぼく達子どもとお母さんが、力を合わせた作品だったので、星まつり賞をいただけるのは、本当にうれしかったです。

皆と壁新聞を作って優秀賞に選ばれて、とてもいい思い出になりました。







### 西成連区 柚木凜子ども会

六年 山内 まこ

私達のかべ新聞は、六年生が五つの子ども会に分かれて作ります。テーマは「夏」です。

各子ども会は、楽しい思い出の行事を題材にして、まず色画用紙で各子ども会のカラーを決めました。それから行事の写真をはり、折り紙や手作りの飾りなどでバランスを考えながらはり付けていきました。細かい作業も多く大変な部分もありましたが、図工の時間みたく楽しんでできました。

完成したかべ新聞を見て感じたことは、一つ一つの小さな輪が、お互いにささえ合い、それが大きな力となっていく赤見小らしさができているということです。色の使い方がとてもカラフルで、夏らしい元気いっぱいのかべ新聞に仕上げることができました。

みんなで協力し、優秀賞をいただきました。それも二年連続と聞いてとてもうれしく思いました。子ども会行事も残り少なくなってきましたが、クリスマス会やお別れ会など予定されていますので、今からとても楽しみです。

最高学年として最後まで一つ一つ、子ども会行事に参加していきたいと思えます。



### 今伊勢町連区 西更屋敷子ども会

六年 服部 光希

西更屋敷子ども会は毎年全員でかべ新聞を作ってきましたので、今年も六年生が中心になり全員で作りました。震災があり絆の大切さを知りました。一人一人の子どもが手をつなぎ、子ども会という小さなつながりが出来、小さな世代を越えたり、たくさん集まり、大きな世代を越えたり絆のつながりになる事を願い、西更屋敷子ども会みんなが手をつないだ、にがお絵にする事にしました。

低学年の子ににがお絵を書く大きさをうまく伝える事はむずかしいかもしれないという不安がありました。に、にがお絵を書いてくれました。

ぼくは一年生の時、六年生の人にやさしくしてもらいました。そして、低学年の子に教えてあげたり、やさしくしてあげる事が次の世代の子たちにつながっていくんだと、かべ新聞を作りながら強く感じました。



### 大和町連区 観音寺子ども会

六年 小川 珠璃

私は、十月二十日に一宮スポーツ文化センターで行われた「福祉とボランティア活動展」に行きました。四階の子どものコーナーではバルーンアートや紙皿のブローメーションなど身近な物を使った簡単な物を使った工作の体験などがありました。バルーンアートは小さい子に人気で、ボランティアのお姉さんに教えてもらいながら、楽しそうに作っていました。工作コーナーの周りにはかべ新聞がはってあり、ほかの連区の新聞なども見てまわりました。かべ新聞のタイトルを毛糸やひらがなのアツプリケで作ってあるところもあってかわいいなあと思いました。ボランティアのお姉さんたちも優しく、楽しい時間を過ごすことができました。



▲楽しい体験をいっぱいすることができたよ！



# 会長・指導部長・指導者代表研修会

今伊勢町連区西目久井子ども会  
指導者 古池真由美

指導者代表研修会に参加して、多くの連区の指導者さんの意見を聞く事が出来ました。その中でも印象に残った意見がありました。

まず、子ども会の会員さんの中に、途中で退会される方が多くて困るという意見があり、それについてある子ども会さんから、六年生だけに特別な行事（キャンプに行く）を行うので途中退会はないとの意見がありました。予算や役員さんの苦労を考えると大変だと思いましたが、とてもいい取り組みだと思いました。

また、子ども会の費用を捻出するのに苦労したという意見がありました。西目久井ではアルミ缶を集める活動をしました。資源ステーションを作っている子ども会があり、すばらしい活動だと思いました。最後に、私もですが指導者を勤める事で子ども達や地域の方と交流する事が出来てとてもよかったですとの意見がありました。これからの子ども会活動がよりよいものになるように、研修会で学んだ事を新しい指導者さんに伝えていこうと思います。



▲意見をたくさん出してね

奥町連区前四子ども会  
指導者 加藤由紀美

先日、代表研修会に参加しました。他の地域の方々と交流の中で色々な意見を聞く事が出来、とても勉強になりました。私をはじめどなたも不安で一杯のスタートでしたが「最後は指導者をやって良かった」との声が多く聞かれました。置かれた状況をポジティブに捉え、指導者として活動していく中で、親として、また人としての成長がそこにあったように思います。研修会では様々な問題点が浮かび上がりましたが、これからの課題として考えていかなければならないのは、大人の都合で子ども会から脱退してしまう子供がいるという事です。大半の方が仕事を持ちながら指導者の活動をしなければならぬという現状です。子

供の事を考え、指導者の方に全てを任せるのではなく、周りの保護者の方も協力し、皆で運営していく必要がある様に思います。そして、時代の流れに沿った新しい試みや、変える勇氣を持つ事も、子ども会を存続していく上で、大切な要因になるのではないかと思います。子供達に異学年との交流を持たせてあげ、保護者同士の交流を深める事が明るい地域づくりに繋がります。人と人との和も広がるのではないかと感じた一年でした。

## 分科会のまとめ

### 良かった点

- ・子ども達が気楽に声をかけてくれるようになった。
- ・行事を土日ではなく夏休み等の平日に行うようにしたら参加人数が増えた。
- ・行事を終えた時の達成感が味わえた。
- ・六年生が司会するなどしたら行事がスムーズに進み、積極的に参加するようになった。
- ・親同士が知り合いになることができた。

### 問題点

- ・引き継ぎがうまくいっていなかったのが困った。
- ・高学年になると役員がまわ

ってくるので子ども会を辞める人がいる。  
・習い事を優先して退会する人がいたり、参加者が減ってしまったりする。  
・行事がマンネリ化してしまっている。

### 助言

- ・子ども会は子どものための会であるので、子どもが楽しめるような目線を持つ。
- ・父親の参加を促すような働きかけをしたらどうか。
- ・行事に変化をもたせると楽しくなり参加率が上がる。
- ・ジュニアリーダーへの要請等積極的に利用するとうい。
- ・子どもは町内の宝という意識をみんなが持つて欲しい。

## 表彰

去る11月24日、愛知県子ども会連絡協議会の表彰式が名古屋市中公会堂で行われ、次の子ども会が表彰されました。

### 県知事表彰

富土連区 かのの実子ども会

### 県社協会長表彰

丹陽町連区 多加木子ども会

### 萩原町連区

西御堂子ども会

### 県子連会長表彰

大志連区 エムズ子ども会

### 向山連区

山彦第3子ども会  
カナリヤ子ども会  
大徳連区 西五城北子ども会  
開明連区 小原子ども会

## 行事予定

○一宮市子ども会指導者研修会  
4月27日(土)  
一宮市民会館

## ジュニアリーダーだより

私たちジュニアリーダーは小学五年生から高校二年生までのメンバーで活動しています。市や県が主催している行事に参加するほか、市内の子ども会行事を盛り上げに行ったりもします。人前で話すことは緊張するし、失敗してしまうこともあります。全員が日頃の練習の成果を発揮できるよう頑張っています。みなさんの子ども会でも是非私たちを呼んで下さい。

## 編集後記

春の訪れとともに卒業、入学の季節がまた巡ってきました。6年生の皆さんは子ども会の思い出をたくさん作れたでしょうか。一年間、子ども会行事の原稿をお寄せいただき、ありがとうございました。これからも楽しみにしていただけ。一宮っ子にしたいと思っています。

## 広報委員

渡部 規子・宇野 笑子  
田中比登美・田島麻友美  
山田いつみ